

「ふくい管路協ニュースの発行によせて」

公益財団法人 福井県下水道公社

理事長 奥 出 昭 司

公益社団法人 福井県下水道管路維持協会の皆様におかれましては、下水道事業の発展のため御尽力されていることに対しまして、心から敬意を表する次第であります。

当公社は、地域住民の健康で快適な生活環境の向上に寄与するために、九頭竜川流域下水道施設の維持管理をはじめ、下水道に関する様々な活動を行っています。

主な業務は、浄化センター、総延長74kmの幹線管渠、6箇所の汚水中継ポンプ場の維持管理ですが、土木・建築・電気・機械・化学などの専門的知識を持った技術者が処理場運転計画などの維持管理全体のマネジメントを行うとともに、水処理・汚泥処理施設の保守点検など、良好で効率的な施設の運転管理に努めています。

近年、東日本大震災をはじめ、集中豪雨や竜巻などの自然災害が日本各地で頻発しています。加えて、戦後の高度経済成長期に急速に整備された道路や橋梁、下水道などの社会資本の老朽化による事故也多発しています。記憶に新しいところでは、昨年12月、山梨県の中央高速道路・笹子トンネルの天井板崩落事故で多くの死傷者が出ましたが、金具などの経年劣化に加え、日常点検の不備も指摘されています。

九頭竜川流域下水道も施設の供用開始から31年が経過していることから、天井に吊り下げられたダクトや配管の落下で作業員や見学者が怪我をすることがないように、また、大規模な自然災害に対して施設のダメージを極力少なくするため、4月から全ての吊り金具の緊急点検を実施しています。これまでの点検で、既に多くの箇所で不具合が発見されています。その多くはボルトの緩みなど軽易なものですが、補修工事を必要とするものもあり、順次、実施しているところです。今後とも、更なる安全対策に努めてまいりたいと考えています。

下水道施設の維持管理業務のほかに、公社独自の事業として、運転管理の技術的課題に関する調査研究と成果の公表や、下水道従事者の技術向上を目的とした研修会も行っています。

また、下水道に関する理解と関心を持ってもらうため、年間を通した見学会のほか、子供さんを対象とした「夏休み 水の探検隊バスツアー」など、様々な普及啓発活動を行っています。

今後とも、県や市町・関係団体の皆様と連携を図りながら、公益財団法人として新たな課題にもチャレンジしてまいりたいと考えていますので、皆様の特段の御支援・御協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会のますますの御発展と会員の皆様方の御健勝をお祈り申し上げまして挨拶といたします。

平成25年度下水道管路維持技術研修会

●開催日 平成25年5月28日（火）ユアーズホテルフクイ

平成25年度 下水道管路維持技

主催 公益社団法人 福井県下水道管路維持協会 後援 福井県土木部河川課

1. 講師 公益社団法人 日本下水道管路管理業協会
技術委員会 委員長代理 伊藤 岩雄様

演 題 「下水管路の包括民営化の実践と今後の課題」

- ・管路管理の現状 全国下水道管路の総延長43万km
30年経過管路約8万kmで10年後約18万km
20年後約32万km
- ・管路全体の問題点
- ・管路施設の特徴
- ・社会資本の維持管理及び更新に関する行政評価・監視
- ・総務大臣から下水道管路管理への勧告内容
- ・維持管理業務概要
- ・予防保全型維持管理のPDCAサイクルと効果の根拠
- ・発生対応型維持管理と予防保全型維持管理の比較
- ・維持管理計画の策定
- ・管路施設の維持管理における包括的民間委託の導入・必要性
- ・包括的民間委託の概要（考え方・スキーム案）
- ・東京都青梅市の事例紹介
- ・事業者選定時における留意点（入札等参加要件等）
- ・今後の検討課題（改築業務とのパッケージ化）
- ・参考資料（下水道管路維持管理計画の策定に関する指針 JIS A7501）



ご来賓ご挨拶

25年度 下水道管路維持技術

社団法人 福井県下水道管路維持協会 後援 福井県土木部河川課



福井県土木部河川課 参事 西出 俊亮 様

25年度 下水道管路維持技術

社団法人 福井県下水道管路維持協会 後援 福井県土木部河川課



福井市下水道部長 前川 孝 様

2. 講 師 管路管理総合研究所 理事長 宮原 茂様
職 員 村上 枝里子様

演 題 「下水道出前講座」

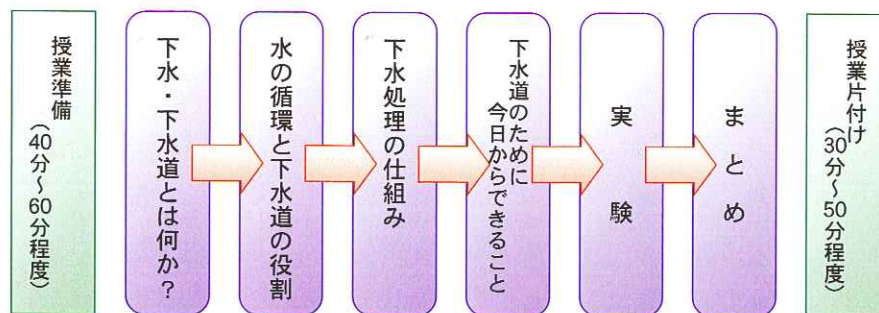
村上 枝里子様による下水道出前講座のデモンストレーションが行われました。

- ・下水道ってなんだろう？
- ・どうして使った水をきれいにするの？
- ・下水道のあれこれ
- ・日本のいろいろなマンホール
- ・どうして下水を集めるの？
- ・下水をきれいにするしくみ
- ・下水道に流してはいけないもの

管路管理総合研究所は、使った水の行方や下水道の仕組みを、もっと知っていただくための出前授業を全国各地・受講者の年代を問わず、無償にて行っておられ、2007から活動開始し、2013年3月までに25都道府県、19,000人以上の方が受講されています。下水道啓発活動を始めたいとお考えの自治体・企業様は当協会までご連絡下さい。

授業当日の流れ

小学校45分授業の例



第27回通常総会の開催

議案審議

第1号議案 平成25年度事業計画（案）の承認の件

第2号議案 平成25年度収支予算（案）の承認の件

以上の議案において

下水道利用者が、下水道による生活満足度が得られるよう維持管理の重要性を訴え、緊急災害に対応出来る協会として活動し又、下水道利用者に、下水の重要性認識のPRを行い、生活には切り離せない重要なライフラインであることの認識度を高める活動を事業の実施方針とし可決されたことをご報告いたします。

第28回通常総会の開催

議案審議

第1号議案 平成24年度事業報告の件

第2号議案 平成24年度財産目録、貸借対照表、正味財産増減計算書
収支計算書承認の件、監査意見報告

以上の議案が、原案の通り可決されたことをご報告いたします。

第3号議案 役員改選の件

事務局より選考委員が選出され審議の結果

理事 (株)トミックス、新保興業(株)、(株)クォードコーポレーション、東洋地工(株)、(株)キープクリーン、西村建設(株)

監事 丹南開発(株)、野村会計 以上8名に決定

新理事間にて会長、副会長の互選が審議され、酒井会長、山岸副会長が再任されたことをご報告いたします。

報告事項

包括的民間委託研究委員会 林委員長より委員会の中間報告で、主な活動、国土交通省の動き、今後の研究委員会の方針の報告がなされた。



福井県内・下水道污水管路の市・町単位総延長一覧表

平成23年度末現在 単位＝m

団 体 名	公共下水延長	農集排延長	林 排 水	漁 業 排 水	計	污水处理普及
公 社	74,151	0			74,151	
テクノポート	19,450	0			19,450	
福 井 市	977,363	164,491	3,340	7,475	1,152,669	92.20%
越 前 市	377,980	40,340	550	36	418,906	82.30%
敦 賀 市	289,819	37,266		2,803	329,888	88.50%
坂 井 市	659,566	16,941			676,507	93.70%
あ わ ら 市	266,400	16,630			283,030	94.00%
鯖 江 市	388,831	97,930			486,761	91.10%
小 浜 市	167,980	123,686		12,739	304,405	98.50%
大 野 市	14,730	104,334			119,064	76.70%
勝 山 市	221,719	47,634			269,353	95.90%
永 平 寺 町	57,134	45,919			103,053	99.40%
越 前 町	158,991	67,033			226,024	99.30%
池 田 町	39,795	20,106			59,901	96.10%
南 越 前 町	43,875	85,522			129,397	99.70%
若 狭 町	99,032	130,249		5,937	235,218	99.80%
美 浜 町	84,640	28,394		12,608	125,642	92.30%
高 浜 町	71,572	53,501		6,970	132,043	98.90%
お お い 町	22,430	100,225			122,655	99.90%
五 領 川	54,530	0			54,530	
合 計	4,089,988	1,180,201	3,890	48,568	5,322,647	平均91.5%

広域的な災害復旧支援体制を考える。

1、基本的には全延長の詳細調査が必要になる……従来の災害調査では平均最高300mと言われている。

例1 目視調査で50%・清掃カメラ調査50%と仮定すると……2,6601kmで300mで割れば8,870日かかる。
20班編成で444日かかる計算になる。

例2 目視調査で70%・清掃カメラ調査30%と仮定すると……1,597kmで300mで割れば5,323日かかる。
20班編成でも266日かかる計算になる。

大変な調査日数が予測される事を実務者は考えておく必要がある。

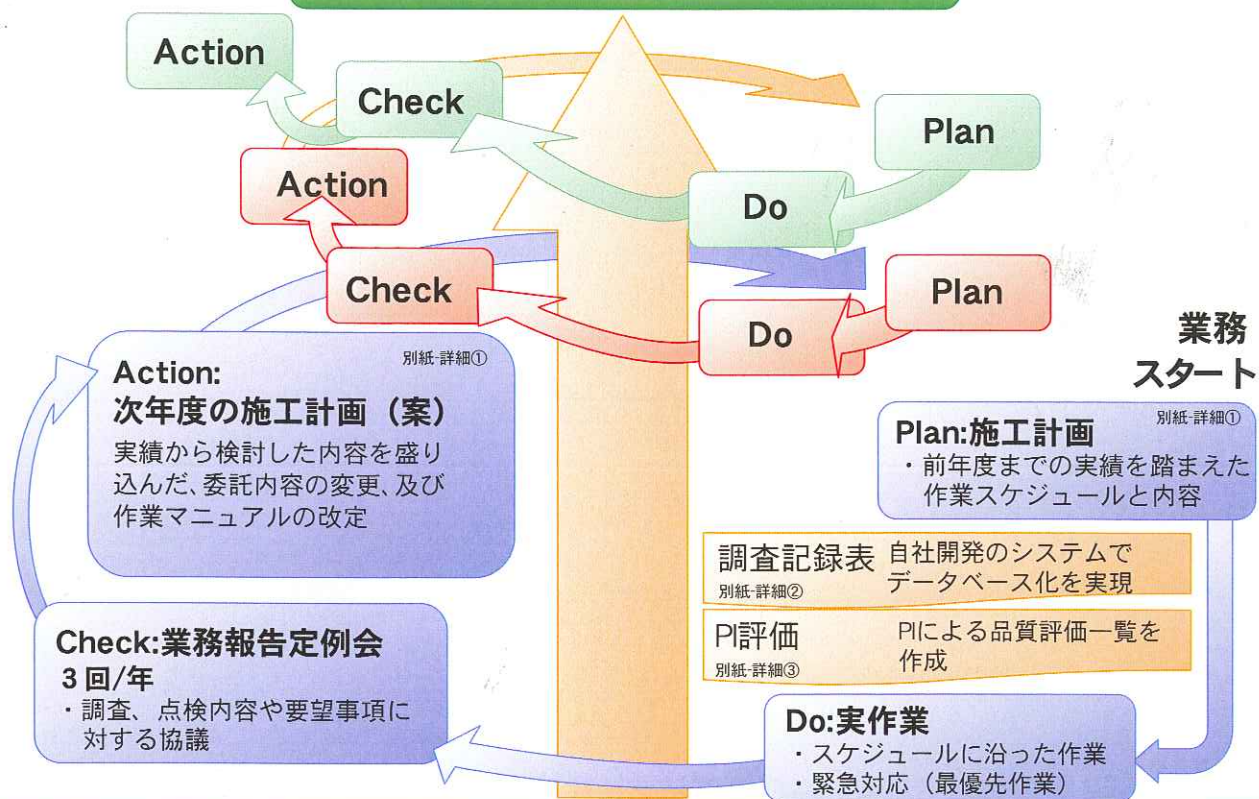
管路洗浄車・バキューム車・TVカメラ車・給水車等が無ければ災害詳細調査は出来ない。

参考 国への地震での被害調査報告限度日数が60日規定と聞いております。

津波がプラスされても90日規定と聞いております。

従来の大災害から先をみて研究しておく必要があると提言したい。

予防保全型維持管理



公益社団法人 福井県下水道管路維持協会正会員

株式会社キーブクリーン

〒910-0006 福井市中央1丁目19-21
Tel:0776-27-0586 Fax:0776-22-0586

株式会社コードコーポレーション

〒918-8151 福井市中荒井町第5号5番地
Tel:0776-38-3806 Fax:0776-38-6284

新保興業株式会社

〒914-0812 敦賀市昭和町1-18-26
Tel:0770-22-1243 Fax:0770-24-0102

株式会社成和建設

〒910-0855 福井市西方2丁目18-36
Tel:0776-23-0807 Fax:0776-23-6895

株式会社ダイエイ

〒915-0876 越前市白崎町73-1-3
Tel:0778-24-4624 Fax:0778-24-4626

大北久保建設株式会社

〒911-0033 勝山市栄町2-7-6
Tel:0779-87-1580 Fax:0779-87-3148

丹南開発株式会社

〒916-0146 丹生郡越前町朝日5-17-1
Tel:0778-34-2334 Fax:0778-34-2674

テラオライテック株式会社

〒915-0806 越前市本保町第8号5番の1
Tel:0778-22-5215 Fax:0778-22-4100

東洋地工株式会社

〒910-0806 福井市高木町4-10-2
Tel:0776-53-5335 Fax:0776-53-5336

株式会社 トミックス

〒916-0005 鯖江市杉本町813番地
Tel:0778-51-1321 Fax:0778-52-2961

株式会社中村正建設

〒910-0833 福井市新保2丁目815番地
Tel:0776-54-2383 Fax:0776-54-2397

株式会社ニシデ・コンストラクション

〒918-8078 福井市更毛町11-22
Tel:0776-34-0474 Fax:0776-34-3092

西村建設株式会社

〒910-0122 福井市石盛町816番地
Tel:0776-56-2822 Fax:0776-56-2823

株式会社ミルタニ工業

〒910-0844 福井市長本町202番地
Tel:0776-53-5671 Fax:0776-53-5695

嶺南建設株式会社

〒914-0802 敦賀市呉竹町2丁目12-24
Tel:0770-25-6333 Fax:0770-23-5580

鷺吉建設株式会社

〒910-0102 福井市川合鷺塚町38-8-4
Tel:0776-55-0463 Fax:0776-55-0669

賛助会員

エスジーシー下水道センター株式会社

〒160-0008 東京都新宿区三栄町19番地
(大久保ビル2F)
Tel:03-3355-3951 Fax:03-3355-3952

FRP内面補修工法協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷2丁目10番地3
Tel:03-3355-1525 Fax:03-3355-5786

クリスタルライニング工法協会

〒460-0013 愛知県名古屋市中区上り前津2丁目1番11号
(東洋化工機(株)内)
Tel:052-321-3875 Fax:052-321-0173

株式会社サンワコン 水研事業部

〒918-8012 福井県福井市花堂北1丁目7番25号
Tel:0776-32-6174 Fax:0776-36-3300

日本スナップロック協会

〒160-0004 東京都新宿区四谷2丁目10番地3(TMSビル)
Tel:03-3355-3851 Fax:03-3355-3852

ペンタフ株式会社

〒531-0076 大阪府大阪市北区大淀中1丁目7-10
Tel:06-6458-1231 Fax:06-6458-1221

丸一調査設計株式会社

〒910-0841 福井市開発町第20号6番地
Tel:0776-52-8400 Fax:0776-52-8401



公益社団法人福井県下水道管路維持協会

Fukui Sewer Collection System Maintenance Association

事務局/〒916-0005 福井県鯖江市杉本町813番地 TEL. & FAX. 0778-52-2805